

はやせつ子祭

長瀬小学校

長瀬小学校は、今年度全校児童71名、教職員12名の小規模校です。児童数の多い学年で19名、少ない学年で8名です。職員は誰でも全校児童の顔と名前が分かり、常に職員全員で子どもたちの指導に当たっています。

学校の教育目標は「主体的に取り組み、ねばり強くやりぬく子の育成」です。今年度はとくに「子どもたちが安心して、笑顔で楽しく学校生活を送る」ことを目指して教育活動を行っています。



また、全校児童数が少ないため、大勢の人の中に入って気後れしないよう、各学期に核となる児童会行事を位置づけ、その行事の企画運営をできるだけ児童

の手で行うことにより児童の主体性を育てていきたいと考えています。1学期には「ながせフェスティバル」として、地域に出てオリエンテーリングを行い、2学期には保護者や地域の方々をお招きして「はやせつ子祭」を、3学期には「ハートアップ集会」を開催しています。今年の「はやせつ子祭」では「仲

良く楽しく長瀬の自然や文化にふれよう」をスローガンに、児童会の縦割り班（1年生から6年生までの子どもでつくる班）ごとに活動内容を話し合い、それぞれに工夫を凝らした体験コーナーを考えました。



今年度は「木の実や葉を使ったかざりづくり」「山菜料理を味わおう」「リサイクルグズづくり」「木の葉などを使った遊び道具づくり」

「昔の暮らしの紹介や体験」の6つの体験コーナーでした。それぞれのコーナーには、準備や計画の段階から地域の方々に支援ボランティアとして入っていただき、子どもたちの活動を助けていただきました。また、PTAの役員さんには、子どもたちが学校園で育てたサツマイモでさつま汁や大学イモを作っていたりなど、この活動を盛り上げていただきました。

おかげさまで、どのコーナーも、当日参加していただいた地域の方々や保護者の皆さんには、子どもたちと一緒に楽しんでいただけたようでした。子どもたちもたいへん喜んでいました。

今後、保護者や地域の方々との力を合わせ、長瀬小学校の教育活動を進めていきたいと考えています。

中高一貫教育事業報告 体験学習に参加した生徒の感想

体験学習に参加して

掛斐川中学校 加藤真梨奈

私は、掛斐高等学校の体験学習に二度参加し、組みひも作りとフラワールアレンジメントに挑戦しました。組みひも作りでは、切り込みのある丸い型にひもをひっかけ、編む作業でした。はじめはどのようにしてよいか難しく、何度も高校の先輩たちに聞きました。そのたびに丁寧に教えてくださったので、何とか最後まで編むことができ、きれいな組みひもが完成しました。



次にフラワールアレンジメントでは、オアシスを中心となる花から生けていきました。茎の長さを調整したり、バランスを考えて生けたりして、グループで作りました。見本を見たり高校の先輩たちにアドバイスをもらったりして美しく花を生けることができました。

この二つの体験は、自分だけではとてもできないことでしたが、高校の先輩方が積極的にアドバイスをしてくださったので、満足のいくものことができました。専門的な知識や技をもち、自信をもって教えてくださった掛斐高等学校の先輩方に憧れをもち、そのような先輩方と交流がもてたことを大変うれしく思いました。



相手の気持ちを大切に

北和中学校 渡邊詩帆理

私は今、福祉をテーマとして総合的な学習に取り組んでいます。今まで図書館などで調べていましたが、わからないことについてより詳しく追究するために掛斐高等学校の福祉体験学習に参加しました。

一回目は、シニア体験をしました。いろいろな装具を付け、お年寄りの方の生活の不自由さを体験するものです。一番驚いたのがゴーグルです。ゴーグルを付けると全体が黄色がかり視野が狭くなります。段差があっても気づくことができません。二回目は手浴、足浴をしました。ベッドから起きることができない方の手や足を洗うものです。初めて体験しましたが、指の間まで丁寧に洗わなければならないため、見た目より難しいものでした。また、高校生の先輩からは、「相手の気持ちを大切にしないとイケないよ。」とアドバイスをいただき、コミュニケーションの大切さも改めてわかりました。



二回の体験から学んだことを毎日の生活に生かし、私の中の優しさを更に磨きたいです。